平成26年度事務事業評価表(平成25年度振り返り)

					_			
政策名	子どもの未来と文化をはぐくむまち	施策番号·名	13	生涯学習の推進		基本事業番号・名 13-01	生涯学習活動の充実	

	所管課係名						対象指	標	活動指	標	成果指					事務事業	全体					一般則	才源分			
事務事業	所管課長名		事務事	業の概要		事務事業の目的	(対象の数値	指標化)	(手段の数値	[指標化]	(意図したこと 数値指標		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト					特定	財源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議 (27年度に向けた		
番号	事務事業名		(根拠法令等、則	財源、上乗、形態)	事	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	1	2	1)+(2)	事	事務事業の方向 及びその	性、項目別 理由等	评価	事業費 (実績額)	事業費の概要説明	事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項目別評価	方向性等)		
		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的			1		(単位)		(単位)		(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		. 1			(千円)		(千円)	及びその理由等	T-5X 0D 388			
	生涯学習課 生涯学習係		□ 自主的 □ 章・社会教育法	義務的 ■ 努力義務的	対象	市民		平成25年度	-	平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性		27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 降方向性 現状維持 27年度以 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持	説明欄: - -		
	生涯学習課長	根拠		のための施策の推進体制 法律				116,015		15		40,564	13,061	7,031	20,092		4有効性4事業委託を行					13,061	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 事業委託を行うことは、職員数の消	<u>i</u>		
	市澤 信明	- "			手段	成人、青少年、障害者、障害児を対象 とした各種生涯学習事業をNPO法人		平成24年度		(事業)		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	況を考慮 また、市	経費の削減が しても正しい 民の生涯学習	選択である 意識の高揚	と考える。 、市民によ	平成24年度		平成24年度	減その他経費の削減が図られ、近年の財政∜ 況を考慮しても正しい選択であると考える。 また、市民の生涯学習意識の高揚、市民に↓			
13-01-01		財源	□ 全額補助 □ -	一部補助有 ■ 市全額	内容	東久留米市文化協会へ委託して実施する。 成人式、市民文化祭等。	市民数(4月1日現	114,335	事業数	14	延べ参加人数	41,837				る主体的]な生涯学習の	推進につな	がる。				る主体的な生涯学習の推進につながる。			
	生涯学習委託事業	上乗	□ 市独自上乗せ(Ĺ上乗·横出)		MOVEM THE CHARGE	11.)	(人)		(事業)		(人)	12,770	6,205	18,975							12,770				
	工任于目安心学朱		□ 直営(委託無)			市民へ様々な生涯学習事業を提供する ことで、各事業を通じて生涯学習の推		平成23年度	-	平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年度	E			
		事業 形態	□ 一部委託	□ 補助·助成金 、	意図	進を図る。 また、市民により組織された団体への 委託により、市民主体の生涯学習振興		114,621		(事業)		36,321	13,151	7,420	20,571							13,151				
						を実行する。		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以	現状維持	27年度以	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 現状維持 27年度以 現状維持	説明欄:行財政改革ア ・ クションプラン3		
	生涯学習課 生涯学習係	根拠	・社会教育法 ・生涯学習の振興	のための施策の推進体制	対象	生涯学習活動団体(文化協会)		26	_	1		26				1173171	4 有効性 4	P4731-3111					必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	(2) 補助金の適正化 検討済み		
	生涯学習課長 市澤 信明	- 法令 等	等の整備に関する	法律 度東久留米市社会教育活				(団体)		(件)		(団体)	900	2,796	3,696	の生涯学	市内文化団体 習活動の充実	を図ること				900	説明欄:市内文化団体への補助により、市民の生涯学習活動の充実を図ることは、文化活			
			新真丽奶亚人门女	ניקיו	手段	は補助金の交付		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	事業等	・発展にもつ を委託した今 [す必要がある	は、補助金		平成24年度		平成24年度	▼動の継続・発展にもつながる。 ま業等を委託した今は、補助金のあり方を 更に見直す必要がある。(補助金の増額か、	È		
13-01-02				一部補助有 ■ 市全額	内容		文化協会加盟 団体数	26	事業件数	1	文化協会加盟 団体数	26	900	2,399	3,299	事業費等 る必要が	の増額による (ある)	事務局体制	の充実を図			900	事業費等の増額による事務局体制の充実を図る必要がある)			
	文化協会活動支援事 業	上乗	□ 市独自上乗せ((団体)	 -	(件)		(団体)											-				
		事業	□ 直営(委託無)		辛应	生涯学習活動団体の育成を図る		平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年度				
		形態	□ 一部委託	■ 補助·助成金)	忠区	1 生低子自伯期団体の自成を囚る		(団体)		(件)		(団体)	1,053	2,951	4,004							1,053	3			
	生涯学習課		■ 自主的 □ 氰	義務的 □ 努力義務的	상숙	社会教育活動団体		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性	現状維持	27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持	説明欄:		
	生涯学習係	根拠	(市) 東久留米市 責任保険取扱要領	社会教育活動主催者賠償	刈多	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		未把握		79		未把握	132	2,477	2,609		4 有効性 4					132	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	l l		
	生涯学習課長 市澤 信明	等						(団体)	_	(団体)		(%)				主催者や	社会教育活動 指導者が安心 実施している	して活動で	きるように				対明欄:社会教育活動を実施するにあたり、 主催者や指導者が安心して活動できるように 本事業を実施している。社会教育活動中に	Ĭ.		
			A 471451		手段 内容	と 主催者賠償責任保険の実施	社会教育活動	平成24年度	1	平成24年度	+n 1 1 1 7		平成24年度	平成24年度	平成24年度	負わされ	とさると、団体 なケースが多 ものが萎縮す	くみられ、	そのために	平成24年度		平成24年度	は 故等が起きると、団体の指導者が賠償責任を 負わされるケースが多くみられ、そのために 活動そのものが萎縮することも少なくないた。	ح ا		
13-01-03		1 1		一部補助有 ■ 市全額 	PA		団体(多すぎて 把握が困難)	未把握	保険加入団体数	(団体)	団体の割合	未把握 (%)	135	2,288	2,423							135	め、その救済対策として大きな意味を持つも のと考える。			
	主催者賠償責任保障事業		■ 直営(委託無)					平成23年度	<u>-</u>	平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年度	E			
		事業形態	□ 一部委託	□ 補助·助成金	意図	社会教育活動の主催者が安心して活動 ができるようにする		未把握		104		未把握											_			
			□ その他()				(団体)		(団体)		(%)	138	2,614	2,752							138	3			
	障害福祉課			義務的 □ 努力義務的	対象	市内在住・在勤者で手話を学ぼうとし ている者		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性	現状維持	27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:国1/2、都1 /4で市の負担が1/4 となっている	平成25年度	26年度以 降方向性 27年度以 降方向性	説明欄:		
	福祉支援係	根拠	・障害者総合支援 ・地域生活支援事	法 業実施要綱		ている者		76	;	68		45		507			4 有効性 4 平成25年度よ			416	C47 (1.2)		必要性 有効性 達成度 効率性 説明欄:			
	障害福祉課長 秋山 悟	等				入門 (30回・50人)、基礎 (30		(人)	-	(人)		(人)				について 村の必須	は、障害者総 事業となった	合支援法に ため、自治	より区市町 体が担わな				-			
13-01-04		財活	□ 全額補助 ■ -	一部補助有 □ 市全類	١.	8 回・30人)、応用(30回・20人)、実践(35回・15人)の4クラスを設け、講習会を開催した。ま	申込者の粉	平成24年度	受講者の数	平成24年度	講習会修了者 の数		平成24年度	平成24年度	平成24年度		:らなくなった 名が誕生した。		、手話通訳	平成24年度		平成24年度	E - -			
15 01 04						た、合同講演会も2回開催した。	下た日が外	(人)	太明日 ジダ	(人)	の数	(人)	1,499	494	1,993					375						
	手話通訳者養成事業		乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出) ■ 直営(委託無) □ 全部委託					平成23年度		平成23年度	-	-	-	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年度	ŧ	
		事業形態	□ 一部委託	□ 補助・助成金	意図	手話を通して聴覚障害者や障害者の理 解を広める。		61	-	61		43	1 #00	****	0.0*0					*05			1			
			□ その他()				(人)		(人)		(人)	1,523	536	2,059					567						

平成26年度事務事業評価表(平成25年度振り返り)

政策名	子どもの未来と文化をはぐくむまち	施策番号·名	13	生涯学習の推進	基本事業番号·名	13-01	生涯学習活動の充実

	所管課係名			対象指		活動指	標	成果指					事務事業全体			一般則	材源分		
事務事業	所管課長名	事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値	直指標化)	(手段の数値	指標化)	(意図したこと 数値指標		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト		特定	財源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議 (27年度に向けた	
番号	事務事業名	(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	1	2	1)+2)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費 (実績額)	事業費の概要説明	事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項目別評価	方向性等)	
	学 切尹米·1			7日1末	(単位)	161%	(単位)	161%	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)		(千円)	及びその理由等		
	障害福祉課	□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	対象 市登録手話通訳者		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	度 26年度以 降方向性 現状維持 27年度以 降方向性 現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 降方向性 現状維持 27年度以 降方向性 現状維持	説明欄:	
	福祉支援係	・障害者総合支援法・東久留米市手話通訳者研修会補助金交付法令要綱			6		6		100	90	13	103	<u>必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4</u>			90	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4		
	障害福祉課長 秋山 悟	等 	研修会費①講演会18,000円×5		(人)	_	(人)		(%)				説明欄:手話通訳の派遣事業については、障害者総合支援法により区市町村の必須事業と つなったため、登録通訳者の研修においても自った。				が説明欄:手話通訳の派遣事業については、障害者総合支援法により区市町村の必須事業と なったため、登録通訳者の研修においても自		
			手段回を東久留米市登録手話通訳連絡会か	市系易主託通	平成24年度	研修会参加者の	平成24年度	技術向上した 通訳者の割合	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	度 治体が担う必要が生じた。 	平成24年度		平成24年度	E 治体が担う必要が生じた。		
13-01-05			内容 0 円を補助金として交付。年度終了後、実績報告を提出してもらう。	訳者の数		数		(技術向上し た通訳者/研 修参加者)		90	13	103	3			90			
	登録手話通訳研修会 事業	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)		1	(人)			IS ≫/JH 11 /	(%)				-				-		
		事業 □ 如手式 ■ は品 品は名	春岡 エジスコネッサならし		平成23年度		平成23年度			平成23年度	平成23年度	平成23年度	<u> </u>	平成23年度		平成23年度			
		形態 □ 一部委託 ■ 補助・助成金 □ その他()	意図 手話通訳者の技術向上		6		6		100	90	14	104	4			90			
		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的			平成25年度		平成25年度			平成25年度	平成25年度	平成25年度	度 26年度以 現状維持 27年度以 現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度		説明欄:	
	生涯学習課 生涯学習係	社会教育法、 根拠 (市) 東久留米市社会教育委員の設置に関	対象 社会教育委員		10	_	3		1	1 200 1 20	1 700 1 100	1 1000 1 100	* 降方向性	1 7000 1 700		1 70.20 1 13	降方向性 の		
	生涯学習課長 市澤 信明	法令する条例、 (市)東久留米市社会教育委員会議規程			(人)		(回)		(件)	305	3,196	96 3,501				305	説明欄: 社会教育の振興に資するため、社会教育に関する諸計画の立案及び教育委員会の		
	口体 1591		手段		平成24年度		平成24年度	_	平成24年度	度 平成24年度 平	平成24年度	平成24年度	一諮問機関として、社会教育法及び市条例により設置している。	平成24年度		平成24年度	啓問機関として、社会教育法及び市条例によ) 設置している。		
13-01-06		財源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	会議の開催内容	社会教育委員数	10	度 平成23年	⇒議の開催数 3 村	検討件数	1				■ 東京都市町村社会教育委員連絡協議会を通じた他自治体との情報交換や、24年度以降は教育振興基本計画に盛り込む提言について				東京都市町村社会教育委員連絡協議会を通 じた他自治体との情報交換や、24年度以降 は教育振興基本計画に盛り込む提言について		
	社会教育委員の会譲 運営事業	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(人)		(回))	(件)	290	2,991	3,281	1 検討するなど、重要な事業になっている。			290	検討するなど、重要な事業になっている。		
		■ 直営(委託無) □ 全部委託			平成23年度			平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	Œ	平成23年度		平成23年度	E	
		事業 形態 □ 一部委託 □ 補助・助成金	社会教育の振興を図るため社会教育に 意図 関する諸計画の立案及び調査研究を行		10		3		3	410	3,373	3,783	2			410			
		□ その他()			(人)		(回)		(件)	410	5,575	9,109				410			
	生涯学習課	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	対象 市民		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	度 26年度以	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 現状維持 27年度以 現状維持 降方向性 現状維持	説明欄:	
	生涯学習係	根拠法令			116,015		74		250	475	1,438	1,913	3 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4			475	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4		
	生涯学習課長 市澤 信明	等 			(人)	_	<u> </u>	(ページ)		(部)				説明欄:文化・スポーツ、文化財、図書館など生涯学習事業の報告及び記録を残すことは、後々の生涯学習事業を展開していく上でする。				説明欄:文化・スポーツ、文化財、図書館など生涯学習事業の報告及び記録を残すことは、後々の生涯学習事業を展開していく上で	
			手段 生涯学習関係課の一年間の事業を一冊 の冊子としてまとめた「社会教育のあ	市民数	平成24年度	-	平成24年度	関係公共機		平成24年度	平成24年度	平成24年度	g 貴重なデータとなるため、重要である。 	平成24年度		平成24年度	E 貴重なデータとなるため、重要である。 -		
13-01-07		財源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内谷 りまし」の発行	(4月1日現 在)		ページ数		関・委員等へ の配布数	250	481	1,339	1,820	0			481			
	社会教育のあらまし 事業	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出) ■ 直営(委託無) □ 全部委託		1	平成23年度		(ページ) 平成23年度		(部)	平成23年度	Ti relico (Tr. relic	T riboo fr rib		T = 0.0 = =		T = 100 / T	_		
			一年間の事業報告として作成し記録と 意図 1 て確せ		114,621	1	平成23年度 74		平成23年度 250		半成23年度	平成23年度	<u> </u>	平成23年度		平成23年度	ξ - 		
		形態	して残す		(人)		(ページ)		(部)	466	1,518	1,984	4			466			
	d ver W 333 am	□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的			平成25年度		平成25年度			平成25年度	平成25年度	平成25年度	度 26年度以 現状維持 27年度以 現状維持	平成25年度	説明欄:特定財源は市町 村総合交付金33,000千円	平成25年度	26年度以 27年度以 27年度以 1844年	説明欄:行財政改革ア クションプラン 3	
	生涯学習課 生涯学習係	・社会教育法根拠・(市) 東久留米市生涯学習センター条	対象 市民		116,015	-	346		158,067				※ 降方向性 3、4、4年17 降方向性 3、4、4年17 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4		刊和日文刊並35,000 [□]		11731312	(1)公共施設使用料 の見直し	
	生涯学習課長 市澤 信明	法令例、及び同施行規則等		_	(人)		(目)		(人)	83,162	3,755	86,917	7	50,161			説明欄:		
	11年 1月7月		東久留米市立生涯学習センター (旧東 久留米市立中央公民館) の管理運営を 民間事業者である指定管理者へ委託		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	一施。 度 利用者懇談会を年2回開催し、より市民の	平成24年度		平成24年度	<u> </u>		
13-01-08		財源 □ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容 し、施設貸出し業務及び各種自主事業 等を行う(平成22年度より指定管理者	. 市民数	114,335	開館日数	345	延べ利用者数	163,875								-		
	生涯学習センター管	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)	導入)。	1111	(人)		(目)		(人)	85,349	3,671	89,020	0 さらに効果的な事業展開が期待される。	48,349					
	理運営事業	□ 直営(委託無) ■ 全部委託	人件費の削減の他、民間のノウハウを		平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		平成23年度		平成23年度	E		
		事業 形態 □ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 活かした管理運営を行なうことで、より質の高い住民サービスを提供し、市	f	114,621		347		149,968		3,963	89,075	5	50,112					
		□ その他()	民の生涯学習活動の推進に寄与する。		(人)		(目)		(人)	00,112	9,303	00,010		50,112					

平成26年度事務事業評価表(平成25年度振り返り)

政策名	子どもの未来と文化をはぐくむまち		施策番号·名	13	生涯学習の推進		基本事業番号·名	13-01	生涯学習活動の充実
-----	------------------	--	--------	----	---------	--	----------	-------	-----------

	所管課係名					対象指		活動指	標	成果排					事務事業全体						一般	財源分		
事務事業	所管課長名		事務事業の概要		事務事業の目的	(対象の数値	直指標化)	(手段の数値	指標化)	(意図したこと 数値指		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)						特定	対源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議	
番号	市攻市米々		(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	+15+TE	実績値	1	2	1)+(2)		業の方向 及びその	性、項目別評)理由等	平価	事業費 (実績額) 事業費の概要説明		事業費 (実績額) 事務事業の方向性、項目別評価	・ (27年度に向けた 方向性等)	
	事務事業名					10108	(単位)	担保	(単位)	指標	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)					(千円)	争未其仍似安武明	及びその理由等			
	生涯学習課		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	分象	市民 (障害児のつどいについては障害児及 びその家族)		平成25年度			平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性 現		27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年	度 26年度以 現状維持 27年度以 限方向性 現状維持 降方向性 現状維持	説明欄:		
	711 J BW	根拠		,,,,,,		_	116,015		2	2	3,138	0	1,678	1,678	必要性 3 有			効率性 3				必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3		
	生涯学習課長 市澤 信明	等			-)		(人)		(日)		(人)		3,010	2,010	説明欄:実行委員会開催時の会議室の提供、 広報による周知、公用車使用による当日の資 材運搬を支援している。					説明欄:実行委員会開催時の会議室の提供、 広報による周知、公用車使用による当日の資 一材運搬を支援している。				
					子どもまつり、障害児のつどい(ポカ ポカはるのつどい) 共に、市民の自主 組織である実行委員会がそれぞれの事	市民粉	平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度		市民のこ	ニーズが高い		平成24年度		平成24年月			
13-01-09		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額		業を実施する。 市は用具の運搬等、その補助を行う。	(4月1日現 在)	114,335	実施日数	2	参加者数	2,637	0	1,640	1,640	検討の必要が	ある。						検討の必要がある。 0		
	子どもまつり・障害	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)				(人)		(目)		(人)		2,020	2,010										
	児のつどい支援事業		□ 直営(委託無) □ 全部委託		実行委員会の補助をすることで、市民		平成23年度			平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年月	变			
		事業形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意図	との協働による生涯学習の推進を実行していく。		114,621		2,665	0	1,771	1,771							0					
			■ その他(実行委員会への支援)				(人)		(目)		(人)									説明欄、化ウ燃研業が			27 U. 10H	
	企画調整課		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	対象	対象 来館者		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性 現		27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	成25年度 施する事業費の1/2相 は、東京都市町村総合	平成25年月	度 26年度以	説明欄:	
	A Tambian C	根拠	多摩六都科学館組合規約			208,999	9 3	3	27,284	69,000	122	69,122	必要性 4 有 説明欄:多摩			効率性 3	67,589	付金圏域分である。	_	必要性 有効性 達成度 効率性 説明欄:				
	企画調整課長 森山 義雄	等			組合事業として科学館展示、プラネタ リウム、学習教室や出前授業等の実		(人)		(回)	来館者の対前	(人)				け、平成24年月	度からの打	指定管理者制 た経営への利	制度導入な				Bルウリ作列 -		
				手段 施。市として管理運営費を負担するほか、科学館議会への議員選出、理事会か、科学館議会への議員選出、理事会、内容 内容 に乗り返り はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	施。市として管理運営費を負担するほか、科学館議会への議員選出、理事会		平成24年度	715 理惠会關係粉 3 来館	1			平成24年度	平成24年度	平成24年度	ている。しかに対する東京	都の財政	支援は平成2	3年度まで	平成24年度		平成24年月			
13-01-10			□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額			来館者数	181,715				16,752	71,721	118	71,839	で打ち切られ、 金は減額して、 整理とともに、	きている	が、今後も見	懸案課題の	69,768		-	_		
	多摩六都科学館事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		_	(人)		(回)		(人)				る。なお、負担なない。										
		事業	□ 直営(委託無) □ 全部委託		科学を体験し、親しみを持ってもら	ĥ	平成23年度		平成23年度			平成23年度	平成23年度	平成23年度	済により、平 る。	-) (124年)	₹がり発止と	はってい	平成23年度		平成23年月	<u>要</u> —		
		形態		意図	5.		164,963		3		10,405	108,155	252	108,407					89,701		-	_		
			■ その他(一部事務組合)				(人)		(回)		(人)				26年度以		27年度以			説明欄:		27年度以 27年度以 1944年	説明欄:	
	企画調整課	1 1	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的 多摩北部広域子ども体験塾実行委員会規約	対象	・ 圏域に在住・在学の児童・生徒		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	降方向性		降方向性	現状維持	平成25年度		平成25年月	降方向性 降方向性 ^{現仏維持}		
	企画調整課長	根拠			東京都市長会、東京都町村会及び自治		55,079		10		483	436	122	558	必要性 2 有 説明欄:東京			効率性 2 対会及び自			43	<mark>必要性 2 有効性 2 達成度 2 効率性 2 </mark>		
	森山 義雄	- 4			調査会による39市町村共同事業助成事 業の一環であり、当市は小平市、東村		(人)		(D)		(人)	T 1 0 4 4 7 1 1 1	TI PROAFT PR	TI POAT TO	治調査会が積 の一環であり、	、地域のi	市町村が連携	媽組織を構	TI PROACE OF		W rtto 4 fr	治調査会が積極的に推進する市町村共同事業の一環であり、地域の市町村が連携組織を構成したります。		
12=0111		8+:E	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額		は山市、清瀬市、及び西東京市並びに多摩六都科学館組合をもって構成する実 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。	児童・生徒数	平成24年度	実施プログラム	平成24年度	参加児童・生 徒数		十以24年度	平成24年度	平成24年度	成し取り組む、 在、実質的に ブロック、多	は東京都	市町村企画	研究会第5	平成24年度		半成24年	度成し取り組むことに重きがおかれている。現 在、実質的には東京都市町村企画研究会第5 ブロック、多摩北部都市広域行政圏協議会を		
13-01-11			□ 主領補助 □ 一部補助有 ■ 巾主観 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)	- 1	まる安貝長中に対し負担金を支出し、 意図するプログラムを企画、実施して	(圏域5市)		数		使級 (圏域5市)	(1)	_	_	_	構成する5市を も、市独自の						_	構成する5市を中心に連携していることから も、市独自の方向性を示すことは難しい。		
	多摩北部仏域子とも 体験塾事業	· —	□ 巾独自工来で(工来・検エ) □ 直営(委託無) □ 全部委託	意図するプログラムを企画、実施している。 多摩・島しょの魅力を高める事業で		平成23年度		平成23年度	-	平成23年度	亚成99年中	亚础的在中	亚成分在中					平成23年度		平成23年/	<u> </u>			
		事業				平成23年度		平成23年及					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		平成23年及	十成23千度	十八23年及	十八23千茂					十成23年度	
		形態	■ その他(負担金)	心区	規模な感動体験を提供する。								-	_	_							_		
			■ てい他(貝担並)				(人)		(回)		(人)													